

保証書

品名: ガーデンバリア / 機種: GDX型

この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。取扱い説明書の取扱い注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。故障の際はユタカメイクお客様相談窓口までご連絡ください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償となります。
イ. 使用上の誤り及び指定外の使用電源による故障、改造による故障及び損傷

ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移設、移動、落下などによる故障
ハ. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障及び損傷

ニ. 使用目的以外に使用された場合の故障

ホ. 本書のご提示が無い場合

ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、或いは字句を書替えられた場合

本書は日本国内において有効です。本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。保証期間内に転居する場合や贈答用として購入する場合において記載事項の変更などが必要になる場合お客様相談窓口へご相談ください。

この保証書によってお客様の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきましてはお客様相談窓口にご相談ください。

保証期間	対象部分	本体	お買い上げ日より1ヶ月
お買い上げ日	年	月	日
製造番号	本体底部に表記	No.	
お客様	ご住所		
	お名前	様	
	お電話		
販売店	店名		
	住所		
	電話		

お買い上げの際は、販売証明書またはお買い上げ年月日の確認が出来るレシートの保管をお願いします。

※ご記入いただいたお客さまの情報は個人情報保護法を遵守し、この保証目的以外の使用はいたしません。

※弊社は、本製品の補修部品を製造打切後5年保有しています。

株式会社 **ユタカメイク**

〒596-0808 大阪府岸和田市三田町195番地
お客様相談窓口 ☎ 072(441)5011 / FAX 072(443)6800
support@yutakamake.co.jp

ノラネコの被害でお困りの方へ ガーデンバリア®

取扱い説明書及び保証書

この度はガーデンバリアを、お買い上げいただきまして誠に有難うございました。

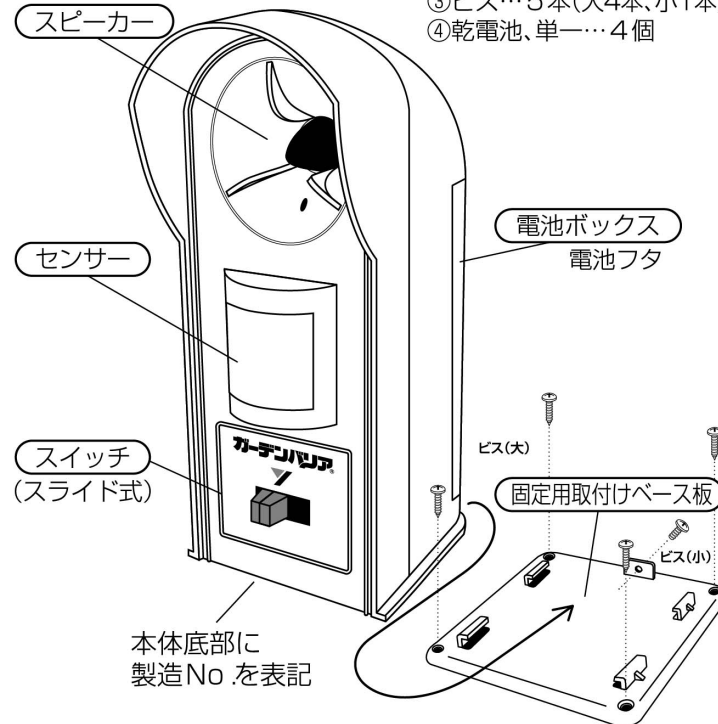
ご使用前に必ずこの「取扱い説明書」を、よくお読み頂き正しくお使いください。

保証書はお買い上げ時点で所定事項を、ご記入の上、大切に保管してください。

各部の名称

【本体】 GDX型
質量 約470g
寸法 W96×H229×D127(mm)

【付属品】
①取扱い説明書、及び保証書
②固定用取付けベース板
③ビス…5本(大4本、小1本)
④乾電池、単一…4個



必ずお読み下さい ⚠ 注意

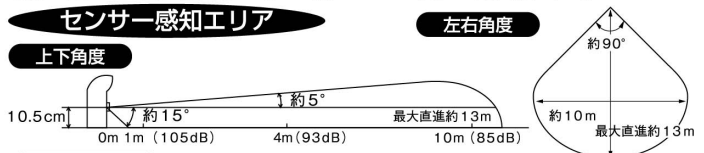
- 完全防水ではありませんので水に浸けたり水洗いはしないでください。又、本体が倒れたままで雨や水がかかると内部に水が入り故障する恐れがあります。暴雨時や水没する恐れがある場合は必ず収納してください。
- 新しい電池と古い電池を組み合わせ使用しないでください。電池が発熱したり液もれの原因になります。(アルカリとマンガンの組み合わせも不可)
- ご使用にならない時は必ず電池をはずしてください。消耗した電池を入れたまま放置しますと、液もれを起こす場合があります。液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流してください。
- センサー部を強く押ししたり傷を付けないでください。壊れたり性能の低下につながります。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 本器は超音波を利用しております。人に向けたり、長時間スピーカー部に耳を近づけないでください。人によっては気分が悪くなったり、頭痛を起こすことがあります。また、飼猫や小動物にストレスを与える場合もありますので、本体を設置する際は、設置場所・方向に充分配慮してください。

各部のはたらき

スピーカー 18~23kHzの強力な超音波をランダムに発生させます。

センサー 作動確認赤ランプと電池確認緑ランプが内蔵されています。

動物の体温から出る赤外線動きを捕らえ、その変位を超音波に連動させます。

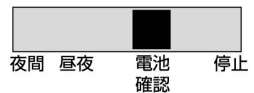


スイッチ (スライド式)

電池確認 緑ランプが点灯すれば電池OK

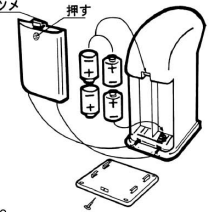
昼夜 24時間作動

夜間 日没から夜明けまで作動
(光センサーにより10ルクス以下で作動)



電池ボックス (電池のセットの方法)

本体後ろ側の電池フタの開閉フックを下に押し下げ、フタを取りはずし、+の方向を確認して電池をセットします。電池セットが終わりましたら、後ろフタの下のツメを本体の下側の孔に先に差し込み、●印の部分カチッと音がするまで確実に押しつけて閉めてください。電池フタが確実にしまっていないと電池フタがはずれたり、水の浸入の原因となります。電池は作動回数に比例して消耗します。単一乾電池4個で約1800回作動します。電池の取替えの際は、必ず新品の同種の電池に4本ともお取替え下さい。



固定用取付けベース板

本体を固定する時にお使いください。
不安定な所や定位置に取り付けたい時に便利です。

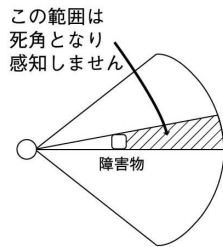
ご使用される前に

作動確認方法

1. スイッチを「電池確認」の位置にし、センサー内部の緑ランプが点灯している事を確認ください。(点灯しない場合はもう一度電池を入れなおしてください。)
 2. スイッチを「昼夜」の位置まで進めセンサー内部の赤ランプが点灯していることを確認してください。(「カチッ」と小さな音と共に超音波を発します。)
 3. 約30秒後赤ランプが消灯し待機状態に入ります。
(スイッチを入れてから正常な作動になるまで約30秒かかります。)
 4. センサー感知エリア内に手などを動かすと、赤ランプが点灯して「カチッ」と鳴り、作動します。
 5. センサー感知エリア内に動く物がなくなった状態から約10秒ほどで赤ランプが消灯し待機します。
 6. スイッチを「夜間」の位置にすると明るい場所では停止します。センサー一部を手で覆うか、まわりを暗くすると作動を開始します。
(光センサーにより約10ルクス以下で作動します。)
- 異常がある場合はお客様相談窓口までご連絡ください。

設置方法について

- **センサー感知エリア** を参考にしてネコの被害(糞害)のある所に方向を決め設置してください。
- センサー感知エリア内に障害物がある場合死角が発生します。(右図)死角内ではセンサーが感知しませんので 注意ください。
- センサー感知エリアはネコなどを感知できる範囲です。効果範囲の目安としてください。
- 太陽光、草木・洗濯物などの反射光や、冷暖房器具などの急激な温度変化により誤作動する場合があります。電池の寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 超音波(音)は遠くほど弱くなるので近い方が効果が高くなります。又、直進する性質がありますので、猫の高さに合わせて被害のある場所により近く設置してください。
- 「夜間」位置は、夜間のみ被害がある場合に使用ください。
- 本器に対して、左右の動きを敏感に感知します。前後方向の動きとは感度の差がありますが故障ではありません。
- 侵入口(通過点)だけに向けても通り過ぎる猫にとっては一瞬のことで効果はあまり期待できません。
- 本器の周辺に食べ物を置かないでください。効果が低下します。
- 生け垣やフェンス等へ向けた場合その先の動く物を感知し作動する事があります。電池の消耗や効果にも影響します。図の様に外側から内側に向け設置することをお勧めします。



効果について

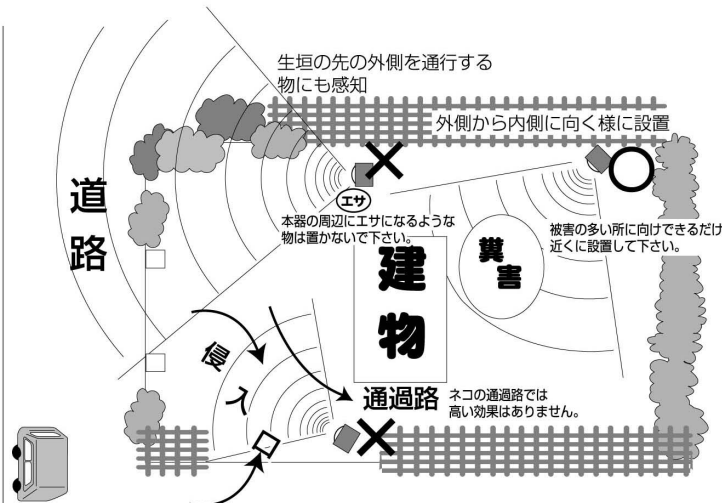
猫は非常に警戒心の強い動物です。

猫は常に、自分のテリトリー(行動範囲)内の状況を克明に覚えていきます。少しでも何か変わっているとその物に強い警戒と観察をします。しかし、この行動はすべて同じではありません。飼い猫と野良猫の違いや種類、性格、年齢によっても異なります。更に周囲の環境にも左右されます。

本器は、猫による糞害やイタズラを解消させるため、超音波により、猫にとって不快な場所であると学習させて、近付かなくさせようとする物です。猫には、本器の発する超音波は非常によく聞こえ、更に、本器の特長である『変動式超音波機能』がその猫を追尾する様に動きに合わせて超音波を発するため猫は慣れる事なくいやがり近付かなくなります。この時の反応も猫の性格やテリトリー意識によって違いがあります。臆病な猫にはすぐ効果を発揮しますが、グループのリーダー的猫は本器の近くに糞や尿をして臭いを付けたり攻撃してくる場合もあります。このような事がしばらく続く事もありますが、やはり猫にとっては不快な場所であるためしだいに近寄らなくなります。

但し、聴力の低下している猫には効果が見られない場合もあります。設置後2週間以上経過しても効果が見られない場合は当社、お客様相談窓口へご相談ください。設置場所や設置方法などについて適切な方法をご指導させていただきます。その後も効果が見られない場合は返品をお受け致します。(但し、購入後6カ月以内と致します)販売店、又は当社お客様相談窓口までお申し出ください。

- 本器は超音波を利用しております。人に向けたり、長時間スピーカー部に耳を近づけないでください。人によっては気分が悪くなったり、頭痛を起こすことがあります。また、飼い猫や小動物にストレスを与える場合もありますので、本体を設置する際は、設置場所・方向に充分配慮してください。



故障かな?と思ったら...

修理を依頼される前に下の項目をチェックしてみてください

現象	原因	確認と対策
緑ランプが点灯しない	電池が消耗している	新しい乾電池に4個とも交換する
	電池の+-を誤っている	+-を確認する
	電池が錆びている	新しい乾電池に4個とも交換する
作動しない	電池が消耗している	新しい乾電池に4個とも交換する
	電池の+-を誤っている	+-を確認する
	電池が錆びている	新しい乾電池に4個とも交換する
赤ランプが点灯しない	周囲が明るい時スイッチが「夜間」位置になっている	スイッチを「昼夜」位置にする
	電池が消耗している	新しい乾電池に4個とも交換する
すぐに停止する	周囲が明るい時スイッチが「夜間」位置になっている	スイッチを「昼夜」位置にする
	センサーレンズが汚れている	やわらかい布で汚れを落とす
センサー感度が鈍い	感知範囲内に障害物がある	設置場所を変えてみる
	人や車に感知している	作動確認を行い(「ご使用される前に」を参照)、設置場所を変えてみる
感知範囲内にネコがいないのに作動する	風などによって温度変化が起こっている	
電池の消耗が早い	太陽光やヘッドライトなどが当たっている	
「夜間」位置で昼間作動する	設置場所が暗い	明るい場所で停止するか確認
異音・雑音がする	スピーカー部に砂などの異物が混入している	スピーカー部を下に向け振り落とす

以上の確認を行っても不調の場合は、販売店又は、当社相談室までお問い合わせください。

⚠ 注意

本体内部に水が、はいつたとき
すぐにスイッチを切り、電池をはずし乾かしてください。水がはいつた状態で使用されますと、修理不可能になる事があります。

お手入れの方法

- ・柔らかい布でからぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を少し含めてふいてください。
- ・シンナーやベンジン、アルコール等は表面を傷めますので、使わないでください。
- ・スピーカー部やセンサーは傷つきやすいので、特にご注意ください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。故障の原因になります。